

伝えるチカラ
事業報告

伝えるチカラ事業報告
地域の若者のやる気とアイデアを形に

NPO法人
シルミルのむら
理事長 熊谷 琢磨



NPO法人シルミルのむら設立

NPO法人シルミルのむらは、地元地域に対して、人、もの、施設などの地域資源を有効に活用する事業を行い、地域活性化に寄与することを目的として、西予市野村町で2017年5月に設立されました。西予市初の法人格をもったNPOです。西予市には、「自分達の地域は、自分達の手で」を基本理念として、地域が主体性をもって地域づくりに取り組む団体が27組織ありますが、野村にある「野村地域自治振興協議会」での活動を持続可能な事業にしていくため、NPO法人に事業を移行させていき、地域づくりが生業になるようにと考えました。法人名の「シル」「ミル」は野村町の特産でもあるシルクとミルクと、「知る」「見る」が由来。地域の宝を育み、常に地域からも世界からも学びつつけようと名付けました。

地域おこし協力隊が企画した
「伝えるチカラ」

法人としての初めての助成事業となった企画を立案し実施したのは、地域おこ

し協力隊兼NPO法人の理事です。地域の若者たちのコミュニティビジネス支援と、自分の取り組んでいえることをきちんと表現できる力を身に付ける事を目的に、東京や京都で地域PRやブランディングを手掛けるデザイナーとカメラマンを講師に迎えて2回のプログラムを実施しました。集まったのは、野村町だけでなく隣の宇和町からも。「自分のやりたいこと」「伝えたい想い」を言葉やデザインや写真で伝えていく手法について学び、実際に地域のビジターセンターのロゴを作成するという簡単なコンペも実施しました。



「伝える力」を磨く為に、課題を見つけるグループワークや、ロゴデザインを制作した。

返る機会になったと共に、考えや想いについて共有が出来たことは、参加者の中に新たな関係性が生まれるきっかけとなりました。イベントやお互いの事業での協力体制が出来たことも嬉しい成果です。2人の若手農家はNPO法人を理事として支えてくれるメンバーにもなっています。

これから

まだ設立してわずかな団体ではありませんが、地域が少しでも元気な場であり、次世代の若者が、仕事や生き甲斐を通して稼げ、活躍できる

野村町であるために、様々なことに取り組み、一歩ずつ地域と共に、歩みを進めていけたらと考えています。

ワークショップを終えて

それぞれが、自身の価値観や事業を振り



ワークショップには、西予市の個人事業主や、地域活動に関心のある20代から50代が集まった。